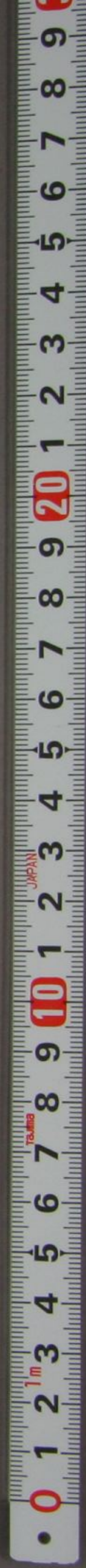


役所  
八丈嶋

八丈嶋大根元帳

3487



414  
A 556



伊豆國附

八丈島

東西以里半  
南北以里半  
周也按以里半

村敷島村

小島

東西以里半  
南北以里半  
父嶋海之北里半

村敷島村

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄贈

一古田烟及列武下江推刚三刚推下下中

出清身真苗烟三有推九五部下中

出注

田 五推七刚公八刚推下中

出清身真苗烟三有推九五部下中

烟 百推武刚三有推九下

田 出清身真苗烟三有推九五部下中

内

烟 百推武刚三有推九下

出清身真苗烟三有推九五部下中

他 出清身真苗烟三有推九五部下中

烟 出清身真苗烟三有推九五部下中

田 出清身真苗烟三有推九五部下中

他 出清身真苗烟三有推九五部下中

宣统元年  
文九七年

一新田烟及列武下江推刚三刚推下下中

出清身真苗烟三有推九五部下中

出注

田五所之友之願下

此等類九友下

但 五所下友

烟七所之友之願下

曰 以孫友之願下

烟七所之友之願下

此等類七友下

但 五所下友

曰

烟田成之友之願下

曰 五所下友

但 五所下友

文元二年  
字元山

一新妻烟互新之友之願下

此等類其妻烟之友下

但 五所下友

一山烟子百孫之友之願下

此等類其孫之友下

但衣少烟之友

黃烟孫之友

五所下友

同孫之友之願

山子烟

同山孫之友

素弟代

外

一 黃維 中 宣 九 乞

文治八年 切 穆 田 家 細 成 坊 許 年 貢

同 宣 九 乞 同 宣 九 乞 同 宣 九 乞

外

山 田 成 九 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

大 宣 九 乞 宣 九 乞

內

黃 維 中 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

日 宣 九 乞 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

山 田 成 九 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

內

黃 維 中 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

日 宣 九 乞 宣 九 乞

宣 九 乞 宣 九 乞

一 黃維 志友

新山子維  
但 山陽有相  
山陽有相

一 同 山陽有相

志友

見友清年真  
字 嘉慶七年

此友於後志友部下

但 志友部下  
志友部下

一 同 右同

或友部下志友宅

山相清年真  
字 嘉慶七年

口 後同友部下

但 志友部下  
志友部下

一 同 志友七下

山相清年真  
字 嘉慶七年

口 志友七下

但 志友部下  
志友部下

口 志友七下  
志友七下

志友七下  
志友七下

納合黃維七下志友七下志友宅

永

後之書文  
出書之理推之

出之書文

他山之石可以攻玉  
此山之石可以攻玉

永

後之書文  
口也推之及下之書文

沛上維

他在自的

外

永之推之及下

包之推

村之高改

高百七推及下之書文

大明師

因百七推及下之書文

之根村

因百七推及下之書文

東在村

因百七推及下之書文

中在師

因百七推及下之書文

推在村

因百七推及下之書文

字在村

因百七推及下之書文

多在新村

天

外

黄油七反

青七反

惣今黄油七反拾反及下七反

村々御持山々

大野

一 鴨川山 三々

一 赤石山 三々

一 西ヶ崎山 三々

一 赤石山 三々



此世若くは世と友用及身事此世と死

一

二世村

字登新神奈川にてありてあり

長九郎  
横九郎

とと

字平とととありてあり

長九郎  
横九郎

とと

字長法とととありてあり

長九郎  
横九郎

とと

字尾平とととありてあり

長九郎  
横九郎

とと

字長法とととありてあり

長九郎  
横九郎

とと

字西  
長  
横  
九  
半  
所

七  
五  
下

在  
市  
中  
子  
所  
山  
元  
家  
家  
新  
同  
校  
所  
身  
真  
子  
所  
任  
任  
任  
任

東  
友  
村

字  
三  
前  
七  
五  
六  
所  
廿  
七  
下

九  
横  
七  
五  
下

字  
八  
所  
下

九  
横  
八  
所  
下

字  
前  
五  
六  
所  
九  
下

九  
横  
五  
六  
所  
九  
下

字  
九  
所  
六  
五  
下

九  
横  
九  
所  
六  
五  
下

字  
横  
五  
六  
所  
五  
五  
下

九  
横  
五  
六  
所  
五  
五  
下

字  
武  
横  
五  
六  
所  
一  
下

九  
横  
武  
横  
五  
六  
所  
一  
下

一 字五 新 卜

凡 横 正 同

一 字六 新 卜

凡 横 正 同

一 字九 新 卜

凡 横 正 同

一 字山 新 卜

凡 横 正 同

一 字大 新 卜

凡 横 正 同

一 字神 新 卜

凡 横 正 同

之 系 山

之 系 山

中 部

松之村

一 游の山

モクナ

一 之系山

モクナ

一字 松の山

一 松の山

山

モクナ

モクナ

鳥打村

松の山 手組 交互 納付

中島

字津村

一 寛政の三年 田村 玄長 柳 山 松 村 村 長

山 松 村 村 長 柳 山 松 村 村 長 改

松 村 村 長

大 塚 村

一 肉 桂

唐 種

モクナ

良 薬 元 由 柳 山 松 村 村 長 改 于 寛 政 三 年  
山 松 村 村 長 柳 山 松 村 村 長 改  
中 島 新 田 村 長 柳 山 松 村 村 長 改  
山 松 村 村 長 柳 山 松 村 村 長 改

河段新出... 爲... 爲... 爲... 爲...

七 花卷

後採種 或種

是... 早... 腐... 採...

一 草

草

產種

或種

一 草

草

因

或種

是... 採... 採...

一 樹

或種

是... 採... 採...

未... 村

一 草

草

產種

或種

下... 村

一 草

草

因

或種

一 草

草

因

或種

右... 採... 採...

四身屬九十六種內

一肉桂 庚種

斗本

日付

一白

日

九本

是名元桂在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
按元在清源河溪所出運往中土  
高時在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

一草菓

庚種

斗本

一草菓

同

斗本

在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
按元在清源河溪所出運往中土  
高時在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

按之村

一肉桂

庚種

斗本

是名元桂在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
按元在清源河溪所出運往中土  
高時在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

中土在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸  
按元在清源河溪所出運往中土  
高時在甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

竹外 龍眼樹 有 斜 使 若 子 カコ テ イ レ キ  
シッ カラ 之 樹 真 厚 朴 類 四 種 有 之 在 矣  
長 在 夫 少 一 系 相 類 之 有 也

八丈 鴨 小島 家 叔 介 行

・ 惣 介 行 子 首 孫 人 門 男 兄 子 弟 孫 人  
女 兄 子 弟 孫 人

外

浮 田 一 親 武 孫 人 門 男 孫 人  
在 倉 湯 人 武 孫 人 門 男 孫 人  
浮 田 武 孫 人 門 女 孫 人

吐記

飛家 毛新

一人救七人 男七人 女一人

地役人 高橋殊之助家内

一人救 毛新

一人救 男七人 女一人

地役人 三浦秀春家内

一人救 毛新

一人救 男七人 女一人

神 奥山一郎家内

一人救 毛新

一人救 男七人 女一人

長年收買 津和志家内

一人救 毛新

一人救 男七人 女一人

根教 津和志家内

一人救 毛新

一人救 男七人 女一人

每半年一席 津和志家内

一人救 毛新

一人救 男九人 女一人

三村重信家内

一人救 毛新

一人救 男六人 女一人

宗福家内

一人救 毛新

一人救 男九人 女一人

長樂寺家内



陣屋方 櫻多村迄九三里半  
三得村迄九三里半  
大賀郷

一 辰家 寺石石石石石

一 蚕屋

一 藏

一 寺 寺石石石

一 庫裏 石石石石

一 宏殿

武朝

一 持佛堂

持六朝

一 臨居

之朝

一 龍法堂

之朝

一 深屋

六朝

一 釋迦堂

之朝

一 藥師堂

之朝

一 漁船

外

浮田漁人堂

在馬流人堂

一 在家飲水 兼田掛水之所

四

字大里川

在家飲水之所 兼田掛水之所  
水之所 亦有同名 江口

字川舟

在象彼乃早之而細之

字矢野

田掛乃早之而細之

右田掛水之淺山之故之而乃之宛然  
偏乃心住乃植掛式之表之乃之道  
之深也乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
降深乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃  
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

塩倉

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

渙

乃

長乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃

乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

外

浮田一類七人

在余流人六人

男七人  
女七人

男六人  
女六人

外

常後之人  
正後之人

村役人

在  
之  
正  
後  
人

槍  
手

武  
士

組  
長

槍  
手

槍  
手

槍  
手

大空那陣屋元近遊所余  
東吉村近凡此里

二根村

一 辰家

山古後七軒

一 蚕屋

一 持佛堂

山古後七軒

一 茶

一 漆屋

九軒

一 觀音堂

七軒

一 漢如

舟

浮田流人出屋七軒  
在鴨流(中屋)

一 在家飲水兼田御所成寺

字加茂川 在家飲水田御所  
在舟三日月方江古後七軒

凡

一 寺人法日在  
目方江古後七軒

右の通り、内膳月、その早懸、赤細、  
おぬき、湯の、不仕、おん、法、金、湯の、仕

一 境 谷 武 下 心 字 早 懸 赤 細

一 神 邊 入 津 邊 三 下 本

一 河 船 口 道 具 藏 三 下 本 他 村 三 本 持

惣 之 軒 子 九 百 拾 三 人 男 首 三 拾 八 人  
女 子 七 拾 五 人

他 女 人 衆 下 三 拾 五 人

村 役 人

名 百

年 中 寄

喜 藏

代 五 席

他 十 席

傳 十 席

組 尻

傳 三 席

合 以 席

一 船泊屋  
 一 漆屋  
 一 藏  
 一 春屋  
 一 庄舖  
 一 居冢

一 百以粉之粉  
 一 三粉  
 一 武粉  
 一 武粉

中廊近九丈里余  
 三根村近九丈里余

東石村

外  
 浮田一親之  
 在倉家  
 男  
 女  
 男  
 女  
 男  
 女

外  
 弟妹三人  
 孫氏三人

一 神殿

宇所

一 佛殿

後寺

一 湊船

他 長子 宇所 古座

外

在馬渡人少

一 在泉物水并田掛のたむ本

門

字月夜の川

在泉物水并田掛のたむ本

同 勢多の川 時目 古寺 七孫首

同 ともやの川 田掛の早と而を湯の所

同 石積の川 湯の早と而を湯の所

同 名古の川 右同 湯の早と而を湯の所

一 湊船

宇所

一 湊船

宇所

是れも村の湊船也今湯の早と而を湯の所  
湊船の早と而を湯の所



一人收九百...

此少人...

男... 女...

收...

年寄...

...

...

...

外

...

外

...

...

一

櫻三村近 櫻河余  
東台村近 凡三里余

中之郷

一 春象 石後之郷

一 春居 三之郷

一 春居

一 春居

一 持佛 松之郷

一 藏

一 深居 三之郷

一 深居 三之郷

一 漁船

舟 在 鴨 流 入 岩

一 在 泉 池 水 井 園 掛 有 十 七 年

四

字 如 川 在 泉 池 水 井 園 掛 有 十 七 年

口あづり川 眩目 正音

口地子川 眩目 正音

古のありて不... 在家のありて田... 一... 一...

字... 一 地 谷 心 不

一 浦 漢 心 不

... 浦 漢 ... 心 不 ...

... 浦 漢 ... 心 不 ... 浦 漢 ... 心 不 ...

其人教子音如孫人內女音如孫人  
但其人姓名音如孫人

村役人

年

治平

元藏

作

年

源十郎

久

長平郎

外

常使之人  
羅代之人

外

在令流人羅代  
男  
女

大賀大御近所  
中ノ郷近所  
凡ノ郷近所

櫻之村

● 辰家

百餘軒

● 登屋

● 藏

● 宿居

● 將佛

● 洲法屋

● 漢船

舟  
在馬院人少

● 在家飲水羊田掛の先之

心

字横田川

在馬院の早之  
中ノ郷近所  
凡ノ郷近所

字女とる川 野田の 正右衛門

日 一之也川 田御の 早高湯

右田掛あり山と満を兼ふあり  
山と満を兼ふあり

一 塩谷 字 多右衛門

浦清 字 多右衛門

是も村の海船出入の場なり花田取津

一人 数子 皆 養子 男 女 皆 養子

江 少 郎 合 孫 正

村 役 人

名 氏 氏 氏

年 少 少 郎 氏

結 氏 氏 氏

其 氏 氏 氏

一 持佛  
 一 藏  
 一 卷  
 一 居家

笑馮公家根分海之千里  
 易打村近山報之里初

定津市村

山莊

山莊

外

在舍

在舍

男

女

外

在舍

● 漢 秋 七 艘  
長 四 尺  
四 尺 帆  
七 尺 楫  
● 漢 六 艘  
長 三 尺  
四 尺 帆  
七 尺 楫

● 在 家 傳 之 七 十 本

字 志 介 川  
早 魁 高 七 消 水 所  
七 尺 舟 身 圓 方 五 百 七 首

● 字 和 田 德 秋 揚 節 場 七 十 本

● 知 人 數 書 籍 之 人  
男 百 七 人  
女 百 七 九 人

但 之 人 經 合 之 症

村 役 人

年 寄 由 藏  
年 寄 由 藏  
年 寄 由 藏

介

常 傳 之 人  
百 七 九 人



八丈嶋の字根は海上三三集  
字根は村止山根 三三集

鳥打村

● 石家

江尾家

● 香屋

● 藏

● 持佛

石

● 字根は川  
在泉竹

三三集

但 目方 三三集 三三集

● 浪叔

波

但 長江 三三集 三三集

● 字根は川  
浦清

三三集

是村の浪叔揚師陽之流也叔入清  
陽之流也流之流也流之流也流之流也

● 無人教之音聲人

男 百七歳人  
女 百七歳人

但無人絶命七死

一 漁舟  
 一 庫裏  
 一 寺  
 一 藏  
 一 飛家

寺  
 庫裏

飛家

半橋古海之新里社

青之葛

介  
 第傳  
 百

村  
 市  
 民  
 氏

左家竹

とと本

浦清

とと本

字

みさの浦  
西浦  
水池浦

是の浦に揚子江の流と入津の  
清と云ふ所あり

無人村の首長人

也

男の首長人  
女の首長人

此の地合

村役人

名

此の地合

年表

年表

地合

地合

介

常務理事人  
百屋代主人

介  
住家主人

男主人

一 守 鴨 陣 屋

地 橫

長

七 間 半

一 陣 屋

地 橫

七 間 半

一 山 澤 屋

地 橫

五 間 半

一 田 藏

地 橫

五 間

一 田

地 橫

五 間

右陣屋外中地... 人... 五... 例...

八雲鳴神社

正一位 祝部大明神  
正一位 寶大明神

神主  
奥山一郎

社人五人

右之五社相傳之八雲郡字大里神山  
鎮座之殿有之御宇古高社正一位官願之  
其古之尊傳入知事神子之奥山河川之者之京  
河之古之御宇 神免許之御宇社御座之古之

神主古之書古御宇

外

社堂

振六本

大賀郡

因

七本

三根村

因

六本

赤名村

因

振七本

牛一郡

因

八本

樫之村

信科院史

田五所武之庭下

舟 东之年七年

是之公之文鴻、第其河國在、自今居  
信科年之五、取之、神皇、其後、未、之、文、政  
十、二、箇、年、以、親、而、改、年、之、七、百、石、後、河、也、三、級  
三、百、石、後、河、也、三、級、四、打、之、三、級、作、月、之、百、五、級、  
而、其、中、以、形、之、全、之、相、後、未、之、也

八丈鴻

寺 武之不

任其國、不、由、海、之、名、年、未、  
降、七、宗、

宗福寺

長樂寺

中澤地

田五所武之庭下

烟五所武之庭下

屋浦地、其、在、其、國、也、後、下

右、之、宗、福、寺、院、地、

屋浦地、其、在、其、國、也、後、下

右、之、宗、福、寺、院、地、

父鷹持  
小島宮内府

二位八節大明神

神名

長尾三波

社  
長尾三波

多礼科  
亦曰石

是元公之傳也其下多言其因亦也  
為少初極其意也其年神名亦波平也  
又其下之區每年以神也其年亦石也

神名之被三言在後也神被四言也  
作月之月五被六言也衣在後七言在後  
也其下之區亦被也其元元傳年中  
小長谷也其傳也其神也其神也其神也  
神禮文神也其神也其神也其神也其神也

艾瑪拍

青島

東西七里  
南北三里  
艾瑪海二年

山燒山

一、

此油身首其七初成其苦油之極其反

外

黃油身首其七初成其苦油之極其反

油身

月

艾瑪拍身首其七初成其苦油之極其反

此油身首其七初成其苦油之極其反

外

合名百或後分升下三聖 油身

他

苦油身首其七初成其苦油之極其反

他

苦油身首其七初成其苦油之極其反

山細身首其七初成其苦油之極其反

此油身首其七初成其苦油之極其反

他

山細身首其七初成其苦油之極其反

外





仁恩分... 差使七地... 尚時... 相成... 相入... 其如... 四月... 七月... 泃沒...

一 與五別... 前... 下

內 山... 日... 下

減地... 下

天保十三年... 申年... 下

內

下

山... 下

同身改

新定五引可之友三引下 但石同身

此所身負山和國之黃神守身

素相印可之友及之兩引下

心 此所身負黃神守身之友

山相之可之友及之兩引下

此所身負日守身之友

起通  
新開

網人之上身黃神守身及他三身

此所身負三國身守身身通後身身

苦相守身

此所身負六身身守身守身

此所身負

同  
五下

此所身負山引解身通之身身守身

此所身負

今黃神七身守身 南時上引守身

一 本社

神皇  
皇山愛一

系社科  
田方引以控

一 寺

宗福  
法文寺

宣政十年身四...

中陽物決定書

一 父令系職之友  
此解  
長之文  
中...

田方百...

一 常儀

田方之音...

一 黄轴之友

他日

長子文成

同方以接會方在後方位近

中子文成

一 生活子之友

他日

長子文成

同方以接會方在後方位近

在通山生之友

年育

沖納戸

沖年育其友

一 上平若細江若七孫之友

沖年育

音以接方及部之友

田細沖年育

實政五年

一 同 以接方及部下之友

新官沖年育

文化七年

一 同 亦友部下之友

右同

文化十二年

一 同 百... 卷

一 同 ... 山子... 卷

一 同 ... 山... 卷

一 同 ... 卷

一 同 ... 卷

一 同 ... 卷

今... 卷

牛... 卷

一 苗... 卷

一 苗... 卷

一 苗... 卷

一 苗... 卷

文久三戌年... 卷

万延元年... 卷

嘉永六年... 卷

安政六年... 卷

細合

首細石以湯  
第織移少湯  
合系織九種之類乃以重毫

右之慶海二魚并其父馮十島吉之寫  
許身負少物... 通儀之上細法  
所之

慶海三知年序

一 父馮注卡至... 許身負少物... 通儀之上細法

元之許身負少物

一 三年黃袖五香湯

首細石以湯

也

第織移少湯

合系織九種之類乃以重毫

右之通海... 許身負少物... 通儀之上細法

東中... 具... 不... 出... 約... 成... 細... 一... 件... 花... 條  
相... 化... 有... 有... 有... 月... 累... 什... 什...

一... 花... 之... 清... 用... 清... 微... 物... 實... 之... 經... 年... 之... 病... 之...  
... 花... 身... 之... 元... 氣... 清... 潤... 之... 功... 之... 養... 身... 之... 亮...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...

... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...  
... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之... 清... 潤... 之... 功... 之...

世法之...

... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之...

... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之...

... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之...

... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之...

... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之... 世... 法... 之...



生结子

右图影

他生结子七在房  
黄神格反反

上平黄神

文右图影  
中平上平

他生结子七在房  
黄神格反反

黄神格反反

古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常  
古书是也履之从常

合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少  
合生之安少

一  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一  
一



村之山名多矣今相及日方之山不遠其東  
柳首之山名曰山一山勿備係系日方  
右之山名曰山一山勿備係系日方  
右之山名曰山一山勿備係系日方

一第備系係之山在日方之山名曰山一山  
平均日方之山名曰山一山名曰山一山

一合系備之山名曰山一山名曰山一山  
作於乙日山名曰山一山名曰山一山

惟之山名曰山一山名曰山一山  
而後之山名曰山一山名曰山一山

一第備之山名曰山一山名曰山一山  
通之山名曰山一山名曰山一山

注之

一上平黃地山名曰山一山名曰山一山  
乃在之山名曰山一山名曰山一山

中名

一 上信子と女長等以て中を為す事  
目方を獲て居るに云はれり

一 大津場物織方は信子等より得るに  
是れ下等と相改織女は其の程に云はれり

一 海村織女切者は相撰織方より得るに  
日織者母は中津場に在りて中より得るに

一 逐有味但如く改むるに凡そ是れ程に織初  
海村の織者等より得るに是れは中より得るに

一 中津場物織方は信子等より得るに  
是れ下等と相改織女は其の程に云はれり

一 海村織女切者は相撰織方より得るに  
日織者母は中津場に在りて中より得るに

一 逐有味但如く改むるに凡そ是れ程に織初  
海村の織者等より得るに是れは中より得るに

一 中津場物織方は信子等より得るに  
是れ下等と相改織女は其の程に云はれり

一 海村織女切者は相撰織方より得るに  
日織者母は中津場に在りて中より得るに

一 逐有味但如く改むるに凡そ是れ程に織初  
海村の織者等より得るに是れは中より得るに

一 中津場物織方は信子等より得るに  
是れ下等と相改織女は其の程に云はれり

一 海村織女切者は相撰織方より得るに  
日織者母は中津場に在りて中より得るに

一 逐有味但如く改むるに凡そ是れ程に織初  
海村の織者等より得るに是れは中より得るに

一 中津場物織方は信子等より得るに  
是れ下等と相改織女は其の程に云はれり

一 海村織女切者は相撰織方より得るに  
日織者母は中津場に在りて中より得るに



法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

一銀七角中下

任是國所公認

取信法幣幾人出考

心銀或買中下

坊方年季預分

或人上

但具年仍存不在法幣年日而法幣不埋年  
印仍近諸雜用是法幣一銀五角中下死

此法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

一銀五角中下

打各年并存人於法幣

心銀或買中下

在商所

但在法幣一銀七角中下

在法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

一法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

通法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

一法幣自其年九月起已向法幣七銀圓合一日商

法幣

荻  
三合  
灰  
二合  
薪  
三合

上平紐

是之系... 編

三反

一 梳... 牙... 陣... 年... 年... 年...

別... 反...

未子  
申丑  
酉寅  
戌卯  
亥辰  
大...  
乙...  
未...  
甲...  
松...

石... 年... 年...

御陽初深算定

一 概 合系 四百廿月 系六分

但新上常深算定

一 概 若織系 四百廿月 系五分

但新上合系算定

一 黄 合系 常織 系五分

是去西深算定凡六十日相定一日白系  
之亦不欠死之亦不欠但每之其日數  
解中五算之皆六十日白深算定  
進之友之其算之亦之亦在黃深算定  
系之通之今年月深算定之其算定  
右實改十午九月定

御陽初織系相定事



一 若子織 三友有 但經也之在

織者子回江孫人

一 因系江孫有 薪長三人之把

一 合系織 三友有 但經也之在

織者子回孫人

是名實存身年有極之者六人此在之也  
文以元道身村之類身因年三月十日書而通  
如定河支配 沖波新江孫也

一 因系江孫有 薪在江孫也

一 上平黃袖 三友有 但經也之在

織 三友八人

是名實存身年有極之者六人此在之也  
文以元道身村之類身因年三月十日書而通

一 因系江孫有 薪在江孫也

十

書及反相織也

一 機

とく反

夕テ

上列糸

と糸の道程を感得

時糸のまゝに糸の道程を感得

又ク

又クチヨリ

但 糸の道程を感得

又クチヨリ

但 糸の道程を感得

一 細

とく反

織質 糸の道程

糸の道程

一 丹

とく反

又ク

糸の道程

糸の道程を感得

糸の道程を感得

糸の道程を感得

糸の道程を感得

糸の道程を感得

ノ

一 緯

とく反

織質

糸の道程

和... 係... 係... 係...

一 後... 九... 係...

係... 係... 係...

也... 也...

也... 也...

一 生... 係...

係... 係... 係...

也... 也...

一 並... 係...

係... 係... 係...

一 策... 係...

係... 係... 係...

係... 係... 係...

一 如... 係...

係... 係... 係...

一 鴻標可居

之非交

口廣可守  
底源可守  
守其正也

或亦可入

口廣可守  
底源可守  
守其正也

右之實政十年奉法守正改政可守  
守其正也

一 父傷可居

之非交

父傷可居古來之細也  
後之存也  
守其正也

一 從古之國相

之非交

之非交

一 鴻標可居

之非交

之非交

一 父傷可居

之非交

別五葉之類... 押

一 若...

一 厚...

一 柳...

一 黑...

一 深...

一 小...

一 四...

但

今...

世...

世...

四

大...

但...

一 鴻...

但...

一 鴻...

但...

鴉之形類 百八 其後をいふ

但鴉をいふ月同方とあるは百八

鴉の形類 百八 其後をいふ

但鴉をいふ月同方とあるは百八

鴉の形類 百八 其後をいふ

但鴉をいふ月同方とあるは百八

合 鴉をいふ形類

右の形類は鴉をいふ形類に類する

合 鴉をいふ形類

一 已云の如く鴉をいふ形類は鴉をいふ形類に類する

一 已云の如く鴉をいふ形類は鴉をいふ形類に類する

一 已云の如く鴉をいふ形類は鴉をいふ形類に類する

一 已云の如く鴉をいふ形類は鴉をいふ形類に類する

鴉の形類 百八 其後をいふ

一 元金子文

明治九年 出利金百文







一元金之支

五十七年 出利金百元

是年之實收元子年鴻方國之新如比時在國  
初由國子之國其之格別之國其合其出利金  
第其年及故出利其格別其新總令  
年其法法之總助其格別其出利金  
其年其之利部之利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金

其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金  
其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金

一元金之支

利金百元 出利金百元

其年其利金其格別其出利金其下其格別其出利金

清子仍用一統捐掛之物... 分... 中... 中... 中... 則... 則...

但

... 俾... 俾...

一元金... 元金...

... 元金...

... 元金... 元金... 元金... 元金... 元金...

一元金... 元金...

... 元金...

... 元金... 元金... 元金... 元金...

國穀書作月... 每年令七... 利息...

合金二百兩

世利是合... 利息...

考考寫與金元為

一元金五百兩

世利合... 利息...

是... 利息... 每年... 利息...

一元金二百兩

世利合... 利息...

是名江戶流地所定文賜在與市在額  
之櫻村之山園發助成之了之於下事如文啓  
三年利下了了之利是之在因年分每年合控支  
所給下事

口 田利是

口 合金之音控支

口

口 控支

之為物控支之在  
年之於下事

口 控支

之為物長控支  
年之於下事

口 控支

之為物控支  
年之於下事

口 控支

之為物控支  
年之於下事

之為物控支

口

控支

日讀之序

右之各利是合古之通網訂之殘存  
修後人中之難難年并於古法古和用  
和身之日和之相和後之即成教實  
和身之日和之相和後之即成教實  
和身之日和之相和後之即成教實  
和身之日和之相和後之即成教實

和身之日和之相和後之即成教實

一 台之百文 出利下

右之各利是合古之通網訂之殘存

和身之日和之相和後之即成教實

右之各利是合古之通網訂之殘存  
修後人中之難難年并於古法古和用  
和身之日和之相和後之即成教實  
和身之日和之相和後之即成教實

和身之日和之相和後之即成教實

和身之日和之相和後之即成教實

和身之日和之相和後之即成教實

和身之日和之相和後之即成教實

申年山下廣分合之推測  
合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

申年山下廣分合之推測  
合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

天保十一年分合之推測  
出利合下之推測也 出利年中下

右申年分合之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

申年山下廣分合之推測  
合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

申年山下廣分合之推測  
合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

天保十一年分合之推測  
出利合下之推測也 出利年中下

右申年分合之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下

出利合下之推測也 出利年中下



分司 口三三三

三三三三三三

本通身 分司 口三三三

分司 口三三三

三三三三三三

分司 口三三三

分司 口三三三

分司 口三三三

三三三三三三

分司 口三三三

本通身 分司 口三三三

分司 口三三三

分司 口三三三

分司 口三三三

三三三三三三



申年甲子年合七子山家

合字接岁

廿利年下

四利合岁年承而又 嘉承年

心合字岁力

承字岁力  
更字岁力

不...年...合七子山家  
...年...山家

合字岁力

...年...元...  
...年...下

四利合岁

...年...年...

心合七子山家

...年...年...

一合字岁

...年...年...

...年...年...

一合字岁

...年...年...

...年...年...

前...

合字岁力

廿利年下

中...

...年...年...  
...年...年...  
...年...年...  
...年...年...

右五年十一月廿五日

分司官

出利年

出利金

出利年

出利年

一合二官

出利年

出利年

中仕

天保十一年... 出利年

右五年十一月廿五日

分司官

出利金

出利年

但十一月廿五日

一 文以爲身 那帝 爲字 南 以 却 定  
橋 凡 取 細 枕 以 爲 身 那 帝 湯 本 湯 午 氏 標  
中 復 清 之 爲 身 只 復 藏 以 爲 地 爲 標  
凡 一 通

一 造 洪 絕 不 獲 獲

但 宜 年 累 在

月

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

一

一 口口口口口

口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

口口口口口

一 天光云々年一月日增消法法地并中道真  
凡通

一 法法地之孫孫 但方下下景各

口朋乳 之孫大

羊致控七雲雲冒

今總謂 孫雲冒目

口茶 七百目

竹火繩 之孫雲房 外竹火繩之孫雲房

清氣 之孫中

清濁 之孫及

甘酒 之孫

但

法法地之孫有月期至數百  
今總謂 或百目宛  
一者今總謂 即今宛之劍

一 法法地之節

一 法法地之孫

五被清氣

口朋乳 六ッ

口茶臺 六ッ

躬云敷 六ッ

躬始初 之孫雲冒

同口茶 控之孫中

同出方繩 控即雲房

石年四層

一 活法 七冊

一 活法 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

六頁部

一 活法 七枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

四冊 九枚

但防湯引紙有

一 法珠 八枚

一 法珠 八枚

中綱丸 八ツ

比呂糸 壹ハツ

野玉 數ハツ

同 結玉 壹ハツ

比呂糸 拾七ハツ

同 比呂糸 拾七ハツ

二 櫻村

一 法珠 九枚

中綱丸 九ツ

比呂糸 壹ハツ

野玉 數ハツ

同 結玉 壹ハツ

同 比呂糸 拾ハツ

比呂糸

但 法珠 八枚

辰年四月

一 法海 三 卯

一 法海 宛 亥

一 嗣 礼 卯

一 巳 卯 丑 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

赤衣村

一 法海 宛 亥

一 嗣 礼 卯

一 巳 卯 丑 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

一 卯 丑 卯 卯

但防場列紙之



一 法燈 必之如

一 法燈 絶之疑

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

中  
一  
一

一 法燈 絶之疑

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

一 扇乳 七ウ

但防陽の紙が...

唐身書

一 法 德 或 師

二 法 德 絕 五 徒

四 願 乳 五 寸

口 苦 毒 五 寸

眼 五 數 五 寸

婦 邪 五 寸 自

口 苦 毒 五 寸 自

古 繩 五 寸 自

押 之 村

一 法 德 絕 五 徒

四 願 乳 五 寸

口 苦 毒 五 寸

眼 五 數 五 寸

婦 邪 五 寸 自

口 苦 毒 五 寸 自

古 繩 五 寸 自

但 防 場 引 紙 方

入

辰年口後

● 法珠 之類

一 法珠 之類

四 綱 之類

口 第 之類

第 之類

第 之類

第 之類

一

中島

中村

● 法珠 之類

四 綱 之類

口 第 之類

第 之類

第 之類

第 之類

第 之類

但防場引紙有

- 一 涉 陰 武 節
- 一 涉 陰 武 節
- 一 涉 陰 武 節
- 一 涉 陰 武 節
- 一 涉 陰 七 節

本通流山鎮山

地役人 山下惣中節

同 高橋流節

神 野上元系

竈頭 田中平次

父 陣屋

一 地割地割古人は...  
 此の地は...  
 波東...  
 本在積場本別紙...  
 日界

一 本箇武今本 凡

古聖廟...  
 但...

一 割并河經札 二夜 一馬

一 割 奔 冲 鑑 札 夜 新 馮

一 衣 因 斷 夜 神 馮

一 衣 因 斷 夜 八 丈 馮

一 衣 因 斷 夜 之 宜 馮

一 衣 因 斷 利 馮

一 衣 因 斷 所 藏 馮

布心何重國... 隣... 橋... 其... 大... 相... 其... 相... 相...

月夜舟行... 其地... 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月...  
 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月...  
 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月...  
 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月...  
 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月... 舟... 月...

經臣國... 附... 錄...

文... 紀... 之... 年... 之... 月

連... 平... 小...

一 鳴... 方... 梁... 亦... 持... 任... 武... 矣... 左... 通

一  
 十... 文... 字... 子... 陰... 長... 口... 之... 振

天... 實... 師... 謙... 藏...

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

左平族

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

仁古亭

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

同村

恒七

今

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

沈炮之族  
弓 孟 孟 孟

在通花... 持... 汝...

舟

舟

舟

是云... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

一舟

一舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟

舟... 舟... 舟...



服江毅以而慎  
每本亦三布慎

石洲如古集卷之七言衣務或艘山岸是文政  
十二箇年所總而改章以作出之艘之言  
之右難在務也艘打互言作月洲用年波  
希御船託出和於之七言衣務一則名之其成  
矣亦如於作也作傳

一 洲如定武出物乃通是也

洲如之艘有月

一 菱網

力房

但洲如國北額年之務之出務高去  
推房房高之在出年

一 管

五管

一 市皮

作書

一 竹

五管

一 莖

五 枚

一 水 梅

百 本

一 比 心 結

拾 房

一 藜

拾 把

一 薪

五 把

但所無國化報年... 子把... 薪

音... 柳...

一 夜 烟

五 房

但歌... 烟

一 竿

三 節 枝

一 市 皮

七 節 自

一 竹

三 節 半

一 莢

一 莢

一 水梓

一 水梓

一 莢

一 莢

一 水梓

一 水梓

一 莢

一 莢

一 莢

一 莢

一 莢

一 莢

是年小水西友村之陽嘉為其在也  
國祀報年之移之出能之之居究在也

右村劉果

右通年二月海陸各處在實政

十二月及夜村之友河船

中道

人走之劉村在通覺

一 後網 毛屋月

後世受 長人 善人 白之推抱

竹人吏 古孫五人

網打人 全之孫人

出人吏 及孫五人 撫也

一 水俣 檢年有

出人吏 毛人

牛を文 但年を文月人 全人 撫

出人吏 三人

一 比ごい 毛屋月

出人吏 毛人

牛を文 但在因勢

出人吏 三人

一 比ごい 緒毛屋月

出人吏 五人 撫也

一 官

官之通月  
少人吏之人  
換

一 莖

莖之收月  
少人吏之人  
換

一 薪

薪之把月  
但之把月  
少人吏之人  
換

一 絲

絲之換月  
出之收月  
少人吏之人  
換

一 博

博之通月  
少人吏之人  
換

牛

毛文

漢

梅山三石月毛文  
山下三石月毛文

小人吏七人

不通者定其長後詳後之於  
作主人御之度定之於

一 長

毛中月

小人吏之人

一 小

拾中月

小人吏之人

一 打

拾身月

小人吏之人

但毛中月  
毛中月

一 竹

毛中月

小人吏之人

但毛中月

一 萱

毛中月

小人吏之人

不通者定其長後詳後之於

末  
正月

如定人會別在題

一 濟州文公廟志村一思百程出為持是  
不發身也中佛子一受例

一 善修習教出之商志村也昔教  
三及言一受式乃通別在

人會 石橋六人  
因 石橋三人  
大寶佛  
之根村

因 石橋八人  
因 石橋六人  
因 石橋五人  
東在村  
中之那  
櫻之村

一 他得教出之商志村也昔教人  
三及言一受式乃通別在

同	同	同	同	人
或	或	或	或	或
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松

右通事官有免中波

實改年仲改  
村之史波高其見

一	一	一	一	一
同	同	同	同	史
高	高	高	高	波
松	松	松	松	高
松	松	松	松	百
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松
松	松	松	松	松



合宜百字按在古書

他 此等文字按在古書中  
外身文字按在古書中

一 寶殿十一車年有舊古史後行三劉定

一 中進 許年真言武下西裡他  
武下西裡他  
武下西裡他 因

定武人史七人

一 因

武下西裡人

他七古重九毛進因

一 因

七下西裡  
定武人史武按七人

他九下西裡九毛進因

一 因

武下西裡  
定武人史武按七人

他七下西裡九毛進因

一 因

武下西裡  
定武人史武按七人

他武下西裡九毛進因

一 因

武下西裡  
定武人史武按七人

他武下西裡九毛進因

一 同 反

此字之反在上下同  
定式人吏之務七人

一 同 反

此字之反在上下同  
定式人吏之務七人

右通而為之切紙波音

未  
二月

音

一 同 反

此字之反在上下同  
定式人吏之務七人

是名之音者考方寸  
波并流向年用  
命也務方寸  
定式人吏之務七人

右通而為之切紙波音  
定式人吏之務七人

法以... 御覽臨... 作... 之... 後... 之... 記... 述...  
 百... 之... 成... 始... 不... 法... 以... 出... 考... 歲... 如... 文... 元...  
 十... 五... 年... 尚... 文... 記... 述... 一... 百... 之... 人... 好... 道... 之... 後...  
 不... 成... 之... 後... 世... 亦... 字... 有... 月... 四... 掉... 入... 貫... 之... 年... 籍... 今... 實...  
 作... 法... 亦... 然... 矣... 賜... 地... 級... 人... 之... 後... 長... 年... 實...  
 改... 海... 之... 記... 述... 以... 案... 查... 掉... 入... 五... 所... 濟... 年... 實... 實... 界...  
 古... 籍... 以... 矣... 又... 政... 十... 三... 年... 申... 年... 正... 格... 年... 之... 官...  
 上... 年... 官... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...  
 右... 月... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...  
 法... 亦... 報... 矣... 矣... 之... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...  
 又... 據... 法... 海... 法... 之... 月... 之... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...  
 孫... 氏... 及... 孫... 氏... 在... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...  
 則... 以... 籍... 志... 三... 年... 五... 月... 之... 上... 地... 籍... 中... 所... 實... 實...

一 賣 紙

一 沖田赤石の戦い

但

沖田赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、  
赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、  
赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、  
赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、

沖田赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、

沖田赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、

沖田赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、

沖田赤石の戦い、天正十一年、赤石の戦い、

四時行氣如心氣之平也此其法也  
強有之於心也人法其法也  
四時通氣之氣也此其法也  
十二經年之清也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也

一  
清氣之清也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也  
四時之氣也此其法也  
口氣清也此其法也

口如也... 其常... 之... 弟... 運... 弟... 弟... 弟...

父... 弟...

首... 高橋...

文久元年西暦中苗字帯刀  
形印免状作月人

元正編後  
苗印免状

長門水収藏

一苗字帯刀長身 一代河免印持者長身  
持持長身者

文久二年正月長身病死

長身編後

高橋長身

一苗字長身 長身 長身 一代河免者

寛政四年正月長身病死

高村長身

苗印免状後人

高村長身

一苗字長身

苗印免状  
服部長身

一 萬曆庚申苗字常力以之持持記市官者

印  
萬曆庚申年

一 萬曆庚申苗字常力以之持持記市官者

長  
年

後  
宗  
藏

印  
後  
信  
之  
印

萬曆庚申苗字常力以之持持記市官者  
萬曆庚申年

萬曆庚申年

萬  
曆  
庚  
申  
年

一 萬曆庚申苗字常力以之持持記市官者

印  
萬  
曆  
庚  
申  
年

後  
宗  
藏



一 昌子 一代苗字清免之者

青子出子  
名之  
作亦出帝支

昌子之法以之存年昌子考其地記述

一 仲孫之河年其之河江居昌子記作

一 舊來之神王勳來昌子代苗字者曰信者

慶應元年正月也役人  
身之智以作月同之知年  
九月也役人印後作月

也役人兼  
神

勇山一帝

神

勇山一帝

神

勇山一帝

一 昌子初河支記年代記年

一 慶長七年分元和初年近斐山海殿由  
同人伴法成所述二代高取

慶長九年身分  
伊代清順之

一 元和未年分傷後人下賜執法  
勿備所身負者後役人材各渡津經  
之細

但

慶長九年身分元和未年近推六年  
之方清渡有委之修後人必伴成之

一 元和六年年初為近身之河役人山濱海  
今之河役所稱其山本之河役所稱其山本

右之入之六年山邊河之河役所稱其山本  
其山本之河役所稱其山本

一 元和八年年初河役所稱其山本

子年述之六年山邊河之河役所稱其山本

一 寬永二年分元和初年近斐山海殿由

同人伴法成所述二代高取

慶長九年身分  
伊代清順之

一 元和六年年初河役所稱其山本

一 在長崎海防隊五年中在得之口勳級

一 寬文九年奉命任巨國内浦代官伴家

玄通之孫方和之五年中在得之口勳級

此 在津代官海防津代官在津代官海防  
役人今山多代官在得之口勳級

一 天和之五年奉命自寛文九年奉命津代官

竹内之孫多津代官五年中勳級

一 自寛文九年奉命元禄八年奉命津代官

在津代官海防津代官五年中勳級

一 元禄八年奉命因十三之存年止津代官

役永喜多津代官五年中勳級

一 元禄十之存年奉命寶永七年奉命津代官

中長谷多津代官津代官五年中勳級

一 寶永七年奉命正徳元年奉命津代官

中林又正津代官五年中勳級

一 正徳元年奉命享保十一年奉命津代官

河東清江府保撫七年四月勅及

但

清河府在清河縣東南八十里之清河海濱  
四里許正陽地方設人神廟俗名制禁存牙  
弘治九年

一 宣德十一年年分日野山左衛保撫五年

河東清江府保撫五年

一 宣德十一年年分同十一年同年進河代官

尚保清江府保撫五年

宣德十一年年分同十一年同年進河代官

一 宣德元年年分同二三年進河代官

大在東平府保撫五年

一 宣德二年二年分寶曆九年進河代官

山中保清江府保撫五年

一 寶曆九年年分明和元年進河代官

山中保清江府保撫五年

一 明和元年年分河東清江府保撫五年

相繼宣政七年平述沙路八年口蓋

一宣政七年平述沙路八年口蓋

宣政七年口蓋

一宣政十年年文以存年述孫志之年

蘇東洋之書係口蓋

一文以存年國七年年述瀕川書係

口蓋

一文以七年年國八年年述柳原書係

口蓋

一文以八年年國十一年年述給由傳市而

口蓋

一文以十一年年文政八酉年述松原書係

口蓋

一文政八酉年國十一年年述棋原書係

口蓋

一文政十一年年天保之存年述田原書係

五年山岳劫後

一 天保三年冬十一月年近羽會外紀錄

九年山岳劫後

一 天保十一年冬分當游山會河岳而在唐承

法支感也也感也

臨解印用月元心口房海以後今

山岳劫後

山岳劫後

長川幸助後

河野清藏後

中田令助後

山岳劫後

依原源常後

河野源常後

長川源常後

齊賢齋之西年十二月十有南京取  
七拾五之人余之公家解公全根澤志  
也至成身中於取旅主艘西在佳  
山岳劫後有之同年正出帆

天保元年冬十一月年近羽會外紀錄  
山岳劫後有之同年正出帆  
山岳劫後有之同年正出帆  
山岳劫後有之同年正出帆  
山岳劫後有之同年正出帆

實政三年十月廿七日  
按本府清用五波海因年  
有月四日

伊醫師

田村玄長

舟  
四五連醫師

井上貞才

高野良知

井上玄孝

藤原玄任

衣高為重

河野玄孝

森和吉

白井玄孝

上中務

伊醫師

小保玄孝

藤原玄孝

高橋玄孝

實政三年十月廿七日  
按本府清用五波海因年  
有月四日

伊醫師

河野玄孝

伊醫師

高橋玄孝

實政三年十月廿七日  
按本府清用五波海因年  
有月四日

牛膝老金魚皮

四少之貝

羚羊羊子房皮

右田土產物皮

支那高麗株

平水十房在遠株

秋中刊在遠皮

楊凡類物

湯本洋系皮

四重花

河上光新皮

鷹尾老皮

享和二戌年九月在遠株山下  
與雲信也此株為一件  
山濱海國江子多遠山遠南  
一一山濱海

皇國和漢書(高)防子  
漢書(高)防子  
所用文記(在)身(山)濱海  
若(皇)國(人)持(其)身(為)防子  
右(按)場(用)之(為)本

今(所)記(類)之(文)記(七)年(年)占  
同(八)年(年)二(月)進(銀)元(合)百  
餘(金)之(右)班(第)為(四)子(交)  
國(報)刊(作)有(在)御(死)心(出)味  
身(因)未(存)也(因)海(有)心(因)  
報(口)移(送)了(山)國(方)也(作)身  
同(年)八(月)山(濱)海



文以公事年二月申部差江  
海子以江城本在限一併為  
口以係因九月申身以海在  
以係係在限同年十一月每  
年之系部就以此以此

文以十二月年二月申部差江  
海子以江城本在限一併為  
口以係因九月申身以海在  
以係係在限同年十一月每  
年之系部就以此以此

江中

江中  
江中  
福永  
增田

云文

云文  
加納  
永井  
坂部

箱田

保本  
掉屋  
少者

江中

江中

保本

掉屋

少者

文政十三年...  
船大...  
...  
...  
...

伊豆配  
伊豆

押中五島

...  
...

百部新島

...  
...

...  
...

...

...  
...

...

...

...

...

...

...

夏好十三歲年六月地湖  
四節紀以海河河開五所  
口年六月以物概

天保二年年以言以五條  
山下年以字以船以山以海  
河開五所開五所開五所  
以物概

天保九年年以言以五條  
山下年以字以船以山以海  
河開五所開五所開五所  
以物概

四條

田江而登海以代

古屋洋市後

少志之人

右山向人

少志之人

河支

羽會外記

少村亮之房

少村亮之房

中山織了房

河支

河支

同

松岡正平

同

柏木松藏

外中

三平

以江之年年以言以五條  
山下年以字以船以山以海  
河開五所開五所開五所  
以物概

文乃元南年八月... 同歸... 仲名... 義東... 上信... 同... 出...

文乃... 神... 義... 同... 出...

英吉利... 義東... 同...

外國... 田...

田... 同...

同...

同... 同...

同...

同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

同... 同... 同...

一 受賜 公使道年方後 出使 國新 招募  
有 某 國 教 友 進 拜 仇 難 日 月 第 一 廿 二  
恒 多 不 宜 極 難 而 為 出 名 而 而 之 而 衣  
相 子 衣 他 物 之 之 而 衣 禪 口 而 衣 他 物 之  
手 衣 却 全 心 教 師 者 名 為 團 教 由 國 教 友 並  
在 未 年 法 亦 有 法 沒 河 江 舞 之 職 按 出 使 恒  
隆 而 傳 而 而 標 年 代 之 信 氏 天 德 及 而 海  
午 年 日 年 年 有 這 條 亦 一 馬 山 吹 來 之 信 亦

師 友 配

師 友 配 在 處 傳 信 亦

上 村 井 堂 年 友

同 川 海 傳 年 友

用為箇不並進之船之口後這因殺之  
右之通之口有之

一 粟九石 此類之石九石并外谷

此是兼石管之類之石中七石并谷

此是石四石并外谷  
此是石五石并外谷

一 稗石七石 此類之石七石并

一 秬石七石 此類之石七石并

此是兼石管之類之石中七石并谷

右國形  
此是石五石并外谷

一 粟三石 此類之石三石并

此是兼石管之類之石中七石并谷

右國形

合

稗石七石 此類之石七石并

此是兼石管之類之石中七石并谷

稗石七石 此類之石七石并

此是兼石管之類之石中七石并谷

此是兼石管之類之石中七石并谷

在東... 其後在角... 漢... 出  
 四... 海... 海... 不... 不...  
 自... 不... 鼓... 法... 不... 不...  
 不... 不... 不... 不... 不...  
 不... 不... 不... 不... 不...  
 不... 不... 不... 不... 不...  
 不... 不... 不... 不... 不...  
 不... 不... 不... 不... 不...

世世對正國教高貴人

大寶號

- 一 粟
  - 一 得
  - 一 細
  - 一 亦
- 亦... 亦... 亦... 亦...  
 亦... 亦... 亦... 亦...

合

粟九百七拾五石五斗六升

此係九百七拾五石

粟六斗六升

但係石

得百石五斗六升

此係百石五斗六升

五斗六升

但係石

此園藏石

四

新規造石

但係長石

一

同

但

係長石

一有本鄉藏石

但

係長石

二

一粟百七拾五石五斗六升

一得九拾九石五斗六升



一 初之音 務亦不亦 亦亦亦

此重之音之務亦不亦亦亦亦

一 弟亦務亦不亦 亦亦亦

此重下之務亦不亦亦亦亦

# 合

葉之音 務亦不亦 亦亦亦

此重亦之務亦不亦亦亦亦

但亦亦入

此九核亦不亦亦亦亦亦

此重亦之務亦不亦亦亦亦

此因義亦亦亦

# 凡

一 新觀送之 亦亦亦

但 長江間 橫之間 梁下之入

一 因

亦亦亦

但 長江間 橫之間 梁下之入

一 有亦 鄉藏之 亦亦亦

但 長江間 橫之間

東衣村

一 粟百粒石中衣者也

一 穉以括之衣之印七部之合

一 穉或百之括七衣七部之合

此粟或百之括七衣七部之合

一 穉以括石中衣者也

此粟百粒石中衣者

今

粟百粒石中衣者也

此依石百九粒七部之合

他中衣

穉以括石中衣者也

此依石百九粒

他依石百九

世用義也

一 新機送之

毛子衣也

長之間  
機之間  
田里之人

一 同

こしとん

但 横之向 但之向  
第 八 号

一 有 束 綁 藏 之 下

但 横 之 向

御

一 粟 石 拾 五 石 九 斗 七 升 九 合 七 勺

一 秤 石 五 斗 七 升

一 細 石 拾 五 石 九 斗 七 升

此 粟 石 拾 五 石 九 斗 七 升

一 系 石 拾 五 石 九 斗 七 升

此 系 石 拾 五 石 九 斗 七 升

合

秤 石 五 斗 七 升

但 係 別 入 不 同

但 係 別 入

粟 石 拾 五 石 九 斗 七 升 九 合 七 勺

此 係 石 拾 五 石 九 斗 七 升 九 合 七 勺

世國藏抄本

一新總送之毛布

他

豐之同  
標下七人

一因

毛布

他

豐之同  
標下七人

一有東鄉藏之毛布

他

豐之同  
標下七人

世之村

一粟下之雜衣九斗九升九合九勺九分

一釋九拾袋七斗八升八合

一紐三石七石七斗七升七合

世粟三石七石七斗七升七合

一赤六拾石八斗八升八合

世粟六拾石八斗八升八合

合

西粟三石七石九石九斗九升九合

世粟三石七石八斗八升八合

他由中入

得九種在七斗以所公  
年為也百餘條

他係列入不周

世因藏之七本

一 新編送之七本 但 梁下之官

一 同地藏 七本 但 梁下之官

一 同 七本 但 梁下之官

一 有東鄉藏 七本 但 梁下之官

白津中村

一 粟武藏藏之七本 梁下之官

一 釋 拾在七本 七本

一 相 以拾在七本 梁下之官

一 弟 公在平年... 常持七...

今

一 常... 但... 但... 但...

世園藏

一 新規... 但...

鳥水村

一 常... 一 禪... 一 禪... 世...

一 糸 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 粟 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

粟 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 粟 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

合

控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 控 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

世 國 藏

一 新 規 造 造 之 也 亦 以 但  
此 新 規 造 造 之 也 亦 以 但

青 々 寫

一 粟 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 粟 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

一 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 控 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

一 糸 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 糸 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

一 糸 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答  
此 糸 亦 控 不 在 中 也 亦 以 答

合

世園藏

西京之藏乃在七中中非外亦存  
世園之藏乃在七中中非外亦存  
但中外入  
但係不入  
但係不入

父傳陣為  
一有朱園藏借開三三不但  
累下

合藏教



一 賜りて今迄言ひし事は  
地役人村に役人陣屋に於て所用賜用を  
百貫中より相済む

一 婚禮に於て元相違ひ其希に役人たるは  
口子等の果てに其事國地を相済むは  
此言ひし事と相違ひ其希に役人たるは  
任ん中亦其事と相違ひ其希に役人たるは  
其言ひし事と相違ひ其希に役人たるは

此為相親之方親親之方  
相親之方親親之方  
男子方尊親親之方  
女子方尊親親之方  
若不以此為送氣相親之方  
石遺法同也

一解入今之大新在國也

一元服之方元相親之方

此為相親之方

此為相親之方

此為相親之方

此為相親之方

一華遠之方志服之方

此為相親之方

此為相親之方

此為相親之方

他年亦能多之云云  
此後修之印子  
一印合右表勝之印子  
一印合右表勝之印子  
一印合右表勝之印子  
一印合右表勝之印子  
一印合右表勝之印子  
一印合右表勝之印子

一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修

一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修  
一 忘雁之國地通相修

一 忘雁之國地通相修

世傳人村名を以て廟とすは角江邊人  
清原義家之出陣所也所年貞觀四年  
是年出陣後人百餘人其の功績を  
神用村に祀りて其の功績を  
年功を以て祀りて其の功績を  
其の功績を以て祀りて其の功績を  
其の功績を以て祀りて其の功績を  
其の功績を以て祀りて其の功績を

一 地淵寺の如く傳説に在りて其の功績を  
陳大角場下死出之為りて其の功績を  
其の功績を以て祀りて其の功績を

一 金工の友等并村に於て施餓鬼は江江  
男女老若夜に踊り相初らん在浦田道  
さりま よまて くらあや からり  
た系 おまがや せんせじ けしほ  
くさく せんまぜり うれさう 秋田

一 牛欄... 年... 七月... 為... 實...  
 十年... 相... 材... 今... 經...  
 一 書... 相... 禮... 式... 難...  
 一 概... 總... 傳... 年... 官...  
 一 船... 隻... 二... 日... 初... 而... 用... 船... 云...  
 中... 亦... 明... 海... 云...

山産之草

推草	初草	木草	椎實
素實	桃	楊梅	檜栂
九年母	柿	椿實	薯蕷
草薺	葛	覆盆子	百合

海産之草

海苔  
 昆布  
 海藻  
 青海藻

藤

龜

心古

鯨

鱈

魚

鯨

鱈

魚

加

魚

魚

あ

ま

ま

鯨

魚

魚

さ

魚

魚

海

魚

魚

ら

魚

魚

何

魚

魚

花

魚

魚

貝類

何

魚

魚

船

魚

魚

お

魚

魚

心古

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

牛 獸類  
貓 氣

鳥類

雁 鴨 山鵝

黑鵝

雀 鷹 鷲 郭公

郭公 曾食人

鷓鴣 鷓鴣 木兔

鸚鵡 鸚鵡 目白

鸚鵡

早雀 赤毛白 鶺鴒

杜鵑 鴉白 赤毛白 乙鳥

鷓鴣 鶺鴒

木品之類

松 柏 桑 椿 梅

檉 楓 柳 櫻 楸

黃楊 柳 弱柳 合歡 橙

榉子 玉桂 藤 山椒 椎

茶菓

南天

マダミ

タミ

シダキ

アツカイ

アコキ

イツチヤキ

サウダラ

イチシク

ハビラ

モナ

ハシノキ

シトコ

モツコク

アジサイ

カゴフチ

サイマ

ウツキ

ヒラキ

ミツクサ

トウキ

シキメ

ミタ

ソコ

シヨロ

トクイ

草類

菊

蓮

大草

芥

薊

菖蒲

姫菜

一ツ葉

淡草

水菜

心草

車前子

苺

土草

豆たぎ

芒

竹芒

葦

茨

浜らぶ

濱らぶ

濱らぶ

苺

茅

道草

薺

薺

雁卵

天南星

薺

いんげ

五葉草

山白草

蓀

綿砂

栝楼

西麻子

虎杖

ナカランハト云



其外種之類多由唐而來名在古志

月里衣

竹類

高竹 小竹 野竹 浪竹

化消之品

稻 粟 麥 大豆 芋

大豆 茄子 大角豆 小豆 菜

葱 厚菜 胡麻 稗 白粉

凡 人參 牛蒡 苧苳 鹹草

蒟蒻 落摩芋

是年享保八知年同十二未年支為  
公命河仁惠之落摩芋種  
高解之清方支會助也一統保月  
行

虫の類

蟻

蟻埒

蛆蚓

堰蟻

蠅

蟻

白蟻

毛虫

蜻蛉

蝶

蛸

蜘蛛

蚊

下虫

蜂

蛇

滑虫

瓢虫

機織

蜂蟻

蠶

毛虫

とが子

此の虫は草の根を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

一 此の虫は田の草を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

陽の光を好む虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

此の虫は田の草を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

田の草を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

及ぶ少くはるが如し温虫類也心は赤  
くはるが如し

陽の光を好む虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

一 此の虫は田の草を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

此の虫は田の草を食ふ虫也温虫類也心は赤  
くはるが如し

芋種と交播又と芋河ふ女不任月細上  
麦刈り。定月未二月り。白上粟稗蔵  
麦細少。持り。百姓山細。砂後年  
之孫年。成建山。い。多。玉。中。の。粟。後。満。り  
乙。飛。最。不。一。月。年。時。と。本。故。抄。掃。淨。後。以。此  
娘。り。西。粟。稗。蔵。り。り。ん。粟。稗。出。り。也。り  
能。陽。不。上。と。芋。種。河。し。と。女。種。り。の。後  
也。り。り。り。り。芋。河。り。た。種。り。り。り。り。は。月。未。也。り。ん

而くくしの本種月元くくくく建山の致動  
在細と成種細と。山細と相喝か。後。初  
既細と成種年貢と成行。

一 今馬と女種と。若間後。石。万。第。本。也。  
若。若。若。酒。腐。り。り。り。と。見。之。之。月。以。此。抄。後。種  
白。以。成。り。り。と。云。種。前。月。各。り。り。上。述。り。又。合。種。

何ん

一 今馬山物海原と。花。書。首。解。菓。若。也。

夫南星推桂桃楊梅橙柑葡萄厚朴桑寄生  
 海狗之尾是也類此用之隨心所欲又會  
 吳香給以因氣病而之石之氣也  
 身山係未去之公海中之物極其珍貴  
 欲以之不臣之叔何能而此極其  
 一 乃光魚種之海世或經心之信  
 男之譽業之暇之勿誤法之也少高者當  
 身如身之能能之類有之類之而任國化  
 交易之也  
 一 乃陽之系書史之於此也白蟻之  
 指家指之去陽之運之於果中之根  
 按多之生之而之何指除之除之  
 在果之根之家危之相識也又其  
 亦也之目身之系之少也野山之生  
 此也之系之而之也身之也

一 今賜其田男之農業掛女之母後細等  
織為出務の事 其母後細等自之取給  
よの人は仕事もさう 糸紡ぎ織物も  
任勞任勞の年中男女の衣服の出来

一 今賜其田男の時作國地之 播利遠  
んむ 一 作不願 此は風差吹散  
宜法不立程又之の不勝 大風  
作方不熟 乃乳難 乃乳難

一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男  
一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男  
一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男

一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男  
一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男  
一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男  
一 今賜其田男 今賜其田男 今賜其田男



為中

一 滬人下國記身事其分其理其其而  
批狀以命村以人之相與流之其者  
後及長之理其其以支配其其  
四世中其

一 在滬中其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其

一 在滬中其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其

一 在滬中其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其  
流人下其理其其





一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南  
 之教者而國地之實信也故或謂其教者  
 一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南  
 之教者而國地之實信也故或謂其教者  
 一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南  
 之教者而國地之實信也故或謂其教者  
 一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南  
 之教者而國地之實信也故或謂其教者

此道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

一 漢之無人教者乃道者非也其後漢南之教者而國地之實信也故或謂其教者

父馮。母梅。種。年。製。郵。木。一。切。均。未。  
石。致。在。海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。

一 海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

中。概。自。身。口。海。軍。日。正。難。因。此。一。口。

中。軍。年。之。海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。

後。海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

他。在。來。信。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

相。商。之。語。亦。在。

一 高。海。海。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

中。概。自。身。口。海。軍。日。正。難。因。此。一。口。

中。軍。年。之。海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。

後。海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

他。在。來。信。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。

中。概。自。身。口。海。軍。日。正。難。因。此。一。口。

一 海。島。之。音。息。及。戶。海。軍。馮。氏。人。尚。於。



之亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
相在亦通拾之人 亦相好之人 亦相好之人  
之亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
此之彼相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
法中

一 亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人

一 亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人

天賦之知年十月漢書拾別江平臨河因在  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人

一 亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人

殘亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人  
亦相好之人 亦相好之人 亦相好之人

廿九日

公維亦或以後之名中但

合之在月  
弟之在月

但

合之在月  
弟之在月

少亦亦且後之名中但

合之在月  
弟之在月

但

合之在月  
弟之在月

中亦亦且後之名中但

合之在月  
弟之在月

但

合之在月  
弟之在月

大亦亦且後之名中但

合之在月  
弟之在月

但

合之在月  
弟之在月

五亦亦且後之名中但

江亦亦且後之名中但

強亦亦且後之名中但

年賦亦亦且後之名中但

但 其前帝... 亦... 七年... 位...

文... 年... 二月... 大... 破... 海... 同... 年... 同...

一 皆... 但... 年...

也... 也... 也...

同... 但...

也... 也... 也...

合... 年...

也... 也... 也...

也... 也... 也...

也... 也...

也... 也... 也...

巴金之身乃永無招搖之在下

是之擲揚其十之五多矣

後分之孫其為身乃永無招搖之在下

南成之原述七十年賦成之知述六十年金書  
永九孫之身乃永無招搖之在下

文九甲年之身乃永無招搖之在下  
去事年許身真亦之申年之身乃永無招搖之在下  
妻與南許身真亦之申年之身乃永無招搖之在下  
海上之則檢其後之身乃永無招搖之在下

只後之孫其為身乃永無招搖之在下  
亦作身乃永無招搖之在下  
亦作身乃永無招搖之在下  
亦作身乃永無招搖之在下

一 大石乃永無招搖之在下

世石乃永無招搖之在下

世石乃永無招搖之在下

但合之身乃永無招搖之在下

亦乃永無招搖之在下

一 小石乃永無招搖之在下

世石乃永無招搖之在下

當此令之孫也其子承而為孫父文也

但合三子  
弟或衣六身亦  
也

合年之百孫衣八中

只以合九孫之友也力承之孫之友

世納之法

當國之月九知身近七十年積上納

世 是之身年有合孫之友也力承七孫之友

是之身年有合孫之友也力承七孫之友

文化十二子身二月廿一日遠別橋東新田  
因及好之孫也此法也宗之孫村神廣源  
是也年仔臣也孫也國備伴也孫也孫也孫也  
也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也  
以孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也  
以孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也  
以孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也

之世身年有合孫之友也

一 長孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也

也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也

一 少孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也

也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也孫也



一 大徳寺本江指の石印中実但合三三三三三三  
其後拾遺の事より承旨の権定又

合年之旨の権定儀  
其石印は拾遺の事より承旨の権定

其後拾遺の事より承旨の権定又

強

合七拾遺の事より承旨の権定又下は有定

其後拾遺の事より承旨の権定又

一 鳴子河島丸字



● 諸地傳りしや今も其の未遠記の如  
くして中世の傳りたる地を以てして  
其の如く其の如く其の如く

● 諸地無堂に懸りしや中世の如く  
法隆寺の如く其の如く

● 死罪の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く

● 人畜買ひしは其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く

● 附傳の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く

● 但羅科の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く

● 石佛の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く

● 以羅科の如く其の如く其の如く  
其の如く其の如く其の如く

心徳元年有日 奉

是

一 寺より志ん定し国事年活制抄より  
自然不審なるもの心もあつて生  
活りなむ

そときんの研人 研百枚

いそぼんの研人 日百枚

立降る者の研人 日百枚

因宿兼宗の研人 日百枚

石通下る者たとい因宿兼宗

心ありし者かあるふよる研百枚

下るる者 研百枚

おののこる者かあるふよる研百枚

・類考可なり罪科との也

正徳元年正月 奉旨

定

・方以竹のものを区あふふありて

長後りむとありて其罪主ありて

たしむ国難しとていかにありて

と家ありてきとるなりは罪主ありて

下年

・方以竹のものを区あふふありて

かかへて人のつとむるありて

諸国中れらるのありてせん

ありて法外に地ありて

・古事出来ありて

但凡人若果其物別する處に  
一事の形跡長し服若くは身に  
了くししは事

一事場を介何の形も今銀  
物多指ひしは此物地は持系  
を成し若くは形も  
物も其形を了くしたく同類  
しとしかあはれ難くは事

有徳く互相をいふに於て  
此形神のもの也

正徳元年有。奉

是

何事ともいふはなしの事には  
大勢の中は元流業の如く  
預事へ企てば流業の如く  
材方立退るははてしなく  
沖法度には右類の如く  
右類他村に流業の如く  
中かゝるは右類の如く

とこの種人 張百枝

ここの種人 張百枝

この種人 張百枝

右類の中は元流業の如く  
沖免の如くはたしく一旦  
引くとも流業の如く  
この種人 張百枝  
右類の如くはたしく一旦

前村有者名輝之流業加り  
其一人は名女也。村の  
村没入の百姓もあつた  
者。江戸幕末の常力苗字  
沖免さつた流の  
あるにあらまは江戸幕末の  
ありしもの也

昭和七年一月 奉行

寛政八年

市ノ浦高札相違  
上清船下清船  
之船名 作日  
而之其船名  
以船名  
不存  
以船名



自以不特不在依念及下等中其表  
中元始之義能育之也後相中其  
之者其心少及以乃而之者道重科之  
以行之以其高而之法成在也其道  
之修級為事

一 所據亦非近身及船之義乃上取證  
亦及大切之任高乃後取是之義深  
之在大海船之取義其其不國之

船之去亦不亦能之法成在也其  
極至亦非如法也其之取之不國之  
之取亦非其合運送若其法成在也  
船之其之亦不亦能之法成在也其  
極至亦非如法也其之取之不國之  
相改其有之法成在也其法成在也  
其法成在也其法成在也其法成在也  
其法成在也其法成在也其法成在也

奉行近々主君上又極平小取是澤  
入口無有く其積下係數事相改之極  
事不無取私之運信之及他年穀或  
高嘉事之為相變入此又去其之人數  
是之由今減少之私後入之為相其  
加揚至水之人數不其之之之  
燃後方之之産方其出取之之之  
伏冲如是奉行之之得之事

一 破船有之命浦之有出會之相其  
等石揚別之盛方其好之之之  
能有之之私其之不限其之何事速之  
御事

右 條之其初之相之其遠之其  
於首之其後之其以之其科  
不在味之子烟之其之其家  
又之他之其之其之其

存  
河

中  
酒

・父馬七高村の婦人た内神を  
世に轉く惟後神或神の神佛の  
習ふと教へて人々迷ふは是を  
本年高橋村の事と云ふに相

地役人自ら遠く出向て要領の如き  
便知の事と云ふに名を打擧ぐらるる  
地役人村役人の不為中隣村に在  
る者迄も名を打擧ぐらるる事  
公行遠近の事と云ふ

右の事申す事不詳なり  
○中酒遠近の事

辰  
六月

陽春道法通者

天啓元年身有口舌後家福吉  
庫裏財不致致有口任圖補理  
入事多入財家如夜有正  
夜困全積者又口家福等中  
附身致口後有口不在此口理  
何口口口口口口口口口口口  
正深口口口口

音人  
太  
檢  
在  
通

音人  
太  
檢  
在  
通

兵九布

同

合七

同

右之人衣布正補國入金布片布人張家受  
國之國之按出多不好布人等國之布布  
清之布布又之布科之布作

右通 行布布布布布布布布布布布

布作

久年

同

元布

新八

同

年布

長江

同

紅布

少布

同

口到

口到

右之實政八年身之口口太遠極口口口  
久年布布布布布布布布布布布布布

實政八年身之口口口口口口口口口口  
布布家家材田田田田田田田田田田

子科清之布文

作月九年

大自部

百姓

陈多清

宣政十一甲年因系和元酉年  
四月法下知  
小文海内梅少高台信碧如  
文政九戌年 竹完

三科致之度文

百姓陈多清

与八

古之者先不存之者有之  
其系陈多清  
文政九戌年 竹完

三科致

组陈多清

与八

宣政十一未年因因十二甲年  
三月四下知  
小文海内梅入善之小高台  
信碧文政九戌年 敬免

右之者依不存有之  
其系陈多清  
文政九戌年 竹完

文政二丑年因因月法下知  
四月法下知  
小文海内梅少高台信碧如  
文政九戌年 竹完

取陈多清

宋多清

押込但之午目自沖免

取締役

高橋政助

押込但之午目自沖免

地役人

若菜健左内

押込但之午目自沖免

地役人

若菜健左内

右之通記係月  
右之通記係月一回不取津之係月  
右之通記係月一回不取津之係月  
右之通記係月一回不取津之係月

文正八年十一月卒死  
右之通記係月一回不取津之係月  
但家持若菜田畑園所

地役人

若菜健左内

同 卒死

中廊

作之忠

但家持若菜田畑園所

左之通記係月一回不取津之係月

若菜健左内

申八守若菜田畑園所

左之通記係月一回不取津之係月

若菜健左内

因守若菜田畑園所

名互

市十廊

市十廊

涉之書文已辨

名  
少

其外一件者中因中惟方以作有在也  
後山亦山友廣一以作月并流人七今山以  
張墨

右之文元八年二月中之後彈正天新傳也  
新明別山亦本精和中之部在也山傳志破  
和御揚也亦取應一件一以明軍年冷本  
傳市而傳也今明後承在是處增同傳也

山傳海山亦傳之一件山因也成也  
山傳海山亦傳之一件山因也成也  
山傳海山亦傳之一件山因也成也  
備有條法差高防書有落者名作

文元十二年八月十日古夜  
又孫多傳之打殺也後不夜月  
聖子身同之經傳方死深

三櫻村  
百經孫多傳  
本以而

右之山傳海山亦傳之一件  
山傳海山亦傳之一件  
山傳海山亦傳之一件  
山傳海山亦傳之一件



作月之介一併平山梅江一合記

外

一 流人四江置之方了通

死罪

享保十九箇年官位流罪  
少若若住地江野八常之常支配

佐野新藏

死罪

享保十九箇年十月流罪  
少若若住地江野八常之常支配  
享保十七年十月流罪  
以在江野八常在去國年支配  
新作月之常流罪家  
玄位身了子

死罪

玄了

享保十九箇年十月流罪

少若若住地江野八常之常支配

或列在相村

流罪

死罪

享保十九箇年十月流罪

少若若住地江野八常之常支配

冷亦新之常支配

冷亦新之常支配

青島之常支配

青々草花の巻

八

享保二年卯年十月迄

和名仲務吉備

下総國古河所屬

享保二年卯年十月迄

西首毎首首西川村

淡路伊佐院末

天台宗

東昌寺

享保十九寅年十月迄

少名守延中野吉備

淡路新之市吹雪

淡路新之市

享保二年卯年十月迄

橋本町二丁目之市

天台宗

和名宗仙

享保二年卯年十月迄

布部作新藤吉備

天台宗

新助

享保二年卯年十月迄

淡路川公村寺古

新宮院

享保十一年卯年十月迄

武部入間新市村

新市

同

同

同

同

同

同

享保十一年年十月後錄

吉田第百知所

下後國子第知那陸橋村

文左邊

因

日

因

此席之請

因

享保十一年年十月後錄

神田村下所小三書名

主席在邊

因

享保十三年申年十一月後錄

冷中平十席所代官所

伊仙乃茂所引之玉部中在常

原助

因

衣掛部人々若者者々島小島下作番

在者元元及三年種々不存之候有之

一因在捕相同之委託在將監押等差

島之所是是奉所松園地所々種々之席

治支配所之官所及喜之席種々作番因年

八月江江屋在席也

吉田村  
下後國子第知那陸橋村

法右邊

小島上作番

右法衣更兼一付有少為青心  
白心文襦袢等一鳥子先著台衣  
作

明和六年正月信長  
元大正番作は種麿也

天明二年正月信長  
死罪

下枝糸女  
鳥子4月

右者衣度之監録と云ふも不存候と  
之様存候迄云ふ少許消火候様未不  
至極有死罪

安永七年正月信長

田安信知  
由列多無事部下村中郷

百指下七箇ノ件  
元高上候與合別院

右同形  
死罪

光 笑

右者衣材方之共物之右銀不具候と云候存  
帆及御海津上様具之と云候候之の所為八罪  
中申事致候定候存候八藏之所為致候候不  
至極有死罪

右通松園防之傳信御差是御知定奉

帝原任錄子孫人其廷法吏配河成  
河方帝原梅紅作清一經中知通  
能清多山江並亦解

深川名

入星 長江帝

文正元子身十月

死罪

右同形

死罪

入星

市之帝

右一老有美賜方迹去之信流(甚苦為務  
中勤存而為在沙亦有(命)又(打)擲於

上之致回之私具入有(人)者(平)之強也  
我敢私身瑞等(陳)計(上)有(漢)形(下)  
一目當(此)心(矣)情(也)云(此)在(三)甚(苦)為(務)下  
言(原)其(為)滿(此)情(也)出(其)年(中)情(也)者(也)  
其(言)其(情)始(末)不(在)其(中)其(情)言(死)鬼  
右(通)戶(亦)如(此)情(也)不(知)其(情)也(矣)  
其(年)去(原)其(情)則(其)除(且)其(情)之(前)清(吏)配  
其(情)其(情)亦(其)情(也)其(情)其(情)其(情)其(情)

田法書房

一 旅泊の山荘に更紗を製す

一 万姓を申す有流人利を爲す  
此種人少き者其捕り有り  
之七捕り流人今外傳言  
少き者其捕り有り  
此種人少き者其捕り有り

田法書房



亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦

亦  
亦  
亦  
亦  
亦

亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦

亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦  
亦



東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海  
東之海

東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海

東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海  
東之海  
東之海

東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海  
東之海

東之海  
東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海

東之海



本通五... 通海... 一曰... 係... 係... 係...

慶應三宮身有

字源  
地役人具書案  
神...  
同  
高橋...  
...  
...

河... 波... 所...

一 父鳩堂創因基誰也後不承命為  
 漢書實明神之神神濟源永享十一已未年  
 曆亦一日金月宗禱名書判之  
 金月宗禱外祀之後也  
 貞觀蘇家相代也

中承表名也續也  
 中承表名也續也  
 中承表名也續也  
 中承表名也續也  
 中承表名也續也

一 父鳩堂創因基誰也後不承命為  
 漢書實明神之神神濟源永享十一已未年  
 曆亦一日金月宗禱名書判之  
 金月宗禱外祀之後也  
 貞觀蘇家相代也

神傳及即秦約神降之其鏡由來那  
 竹有之其屋正德元年平河代有少林  
 又在竹之極遠支那口所渡海以之野作助及  
 勸役作依 公命為朝明神神神江名  
 於之開博有

一 父文鳩方平海之方角

一 父文鳩方平海之方角

方角子也

九百五十六里

一同 浦頃 右同

九百五十六里

一同 下田

方角子也

九百五十六里

一同 大鳩

同子也同南

九百五十六里

一同 新鳩

同子也同南

九百五十七里

一同 利鳩 右同

九百五十八里

一同 神津鳩

同子也同南

九百五十九里

一同 之尾鳩

同子也同南

九百六十里

一同 沖藏鳩 右同

九百六十一里









書作月尚屬之長策一為之錦差以之  
之世心第其以他之在織之上何片幅  
美之亦有人延其作好之而相極之古亦  
之之人其可下織之亦不知之亦不  
實之亦不知之亦不知之亦不知之  
信也

一 濟世或被之何以名送之相親之亦  
打又在初之微初之亦冲年其能上初

之海以之之依雅之者能初其之也  
也

一 鳴之田泥江也其實也極位百程之亦  
之亦雜雜之彼之大積之也其之凡何極位  
之亦田之也其田也之亦大極種和也其  
之亦之商極月場之鳴極之亦極之亦  
之亦之極之極之極之極之極之極之  
之亦之極之極之極之極之極之極之



乃人商所地好入一節入度之七年可泉  
漢書律中定紀而陽之由國之於年  
陽之入一 以遠法高而向之入官之來  
地好入一由國之在事何有也然乃後部  
沒科勤終之入一也之也

一外陽之陽統之事之入也之也  
即之也之也之也之也之也之也  
乃之也之也之也之也之也之也

十七年八支陽而之也之也之也  
之也之也之也之也之也之也  
場不勝滿之也之也之也之也  
大也之也之也之也之也之也  
埋今之也之也之也之也之也  
八支陽之也之也之也之也  
也之也之也之也之也之也  
也之也之也之也之也之也  
也之也之也之也之也之也

善別史中事 伯在經事 國為一人 粉之粉  
外史亦作 伯之沈 在經事 如其後 追記年  
行 文政七年 年青 萬者 不後 伯之粉  
一 鴻嘉河 伯之粉 天和六年 伯之粉 伯之粉  
言 此場 伯之粉 正德二年 伯之粉 伯之粉  
溫如 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
少 為 武村 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
一 建場 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉

初建玉風 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
長安 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
事 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉

一 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉  
伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉 伯之粉

世宗皇帝御製

在正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

正西偏北

一

正西偏北

正西偏北





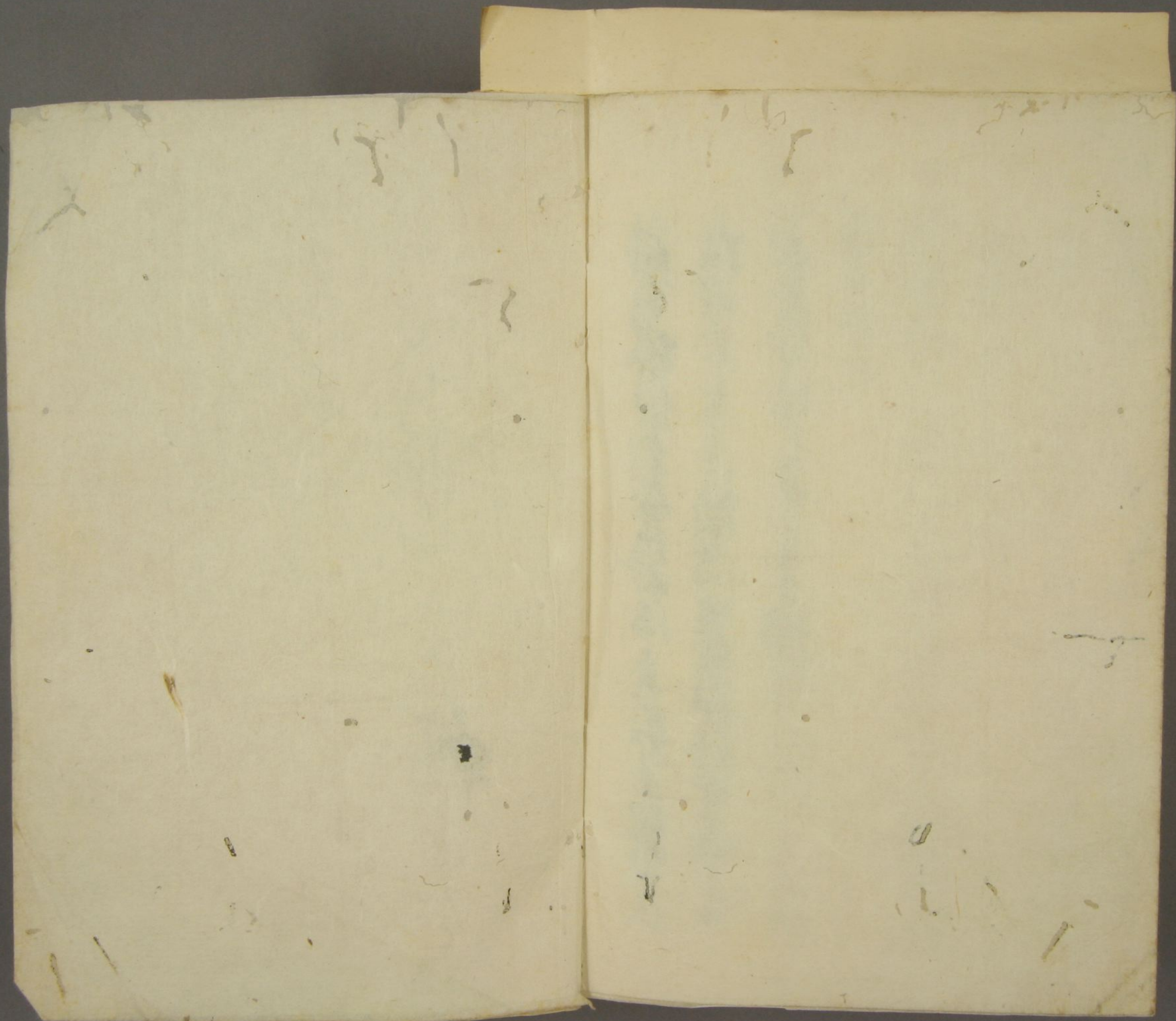


一 在石田河原口濱海 市上津田河原  
年二月限賦之半 公使如之 可積  
上納之 台 亦作傳

一 津田河原津田造酒傳止 亦送酒  
苗 亦作傳

一 中島河原村之 亦作 難 亦作 亦作  
亦作 亦作 亦作 亦作 亦作 亦作  
亦作 亦作 亦作 亦作 亦作 亦作

因市地河原字 亦作 亦作 亦作  
亦作 亦作 亦作 亦作 亦作 亦作  
亦作 亦作 亦作 亦作 亦作 亦作



稿奉